

11002鋳物業における死傷災害100事例まで（2018年）

No	年	月	発生時	死傷災害事例	年齢	事故の型	起因物(小)	労働者規模
1	2018	1	10 ～ 11	会社工場内にて、ベルトコンベアーの清掃作業中にベルトコンベアー（幅920×全長9000×高450mm）のローラーに砂が付着していたため、棒状の器具を右手で持ち清掃していたところ、器具がベルトに挟まれ、慌ててしまったときに誤って左手をベルトに挟まれ負傷した。	49	7	224	30～ 49人
2	2018	1	16 ～ 17	自社工場内で砂型から外した鋳物製品を箱の中に入れて砂落としをしていた。鋳物製品にチェーンを掛けて、クレーンで吊り、箱の枠に右手を置き、左手でクレーンの操作をしていたら、誤って手の上に製品が落ちて、右手の甲を負傷した。	34	4	211	10～ 29人
3	2018	1	15 ～ 16	自社工場内で、設備保全中に修理後の、試運転中の設備のベルトに触れ右手中指を負傷した。（同席していた作業員から、近づかずに離れて様子を見ているように言われていた。）	22	7	121	10～ 29人
4	2018	1	5 ～ 6	早朝、自部署から20m程離れた場所にあるトイレへ行った帰りに通路に置いてあった鋳造製品に右膝を強打した。	49	3	521	100～ 299人
5	2018	1	9 ～ 10	会社内で鉄板（厚さ4.5mm）に穴あけ作業中、鉄板を左手で少し持ち上げ電動ドリルで穴をあけた際、誤って鉄板の下に添えた左手の示指にドリルが当たり、左手示指を貫通し、負傷する。	56	4	521	1～9人
6	2018	2	19 ～	造形ラインで異常停止したため原因を調査したところ、定盤台車と支柱の間に異物が噛んでいた、棒を使用し異物除去したところ	53	7	159	10～

			20	定盤台車が残圧で動き、台車と冷却ライン金枠の間に足を挟まれ受傷した。				29人
7	2018	2	14 ～ 15	自社工場内で作業中、機械の蓋を閉めた際、誤って右手小指を挟んで負傷した。	21	7	162	30～ 49人
8	2018	2	8 ～ 9	中子取の持ち手にワイヤーを掛け天井クレーンで吊り上げ、反転しようとしたとき、ワイヤーの片方が外れ落下し、安全靴の左足甲に当たり、骨折した。	26	4	211	10～ 29人
9	2018	2	9 ～ 10	作業ステージの下から上へ戻ろうとして、足場に足を掛けて勢いよく伸びあがったときに、経路の頭上にある操作盤にヘルメットをぶつけ、頸部を負傷した。	42	3	169	50～ 99人
10	2018	2	7 ～ 8	グラインダーで仕上げ作業中、グラインダーを製品に押し当てた際に、作業台から製品が右足に落下した。	31	4	521	10～ 29人
11	2018	2	11 ～ 12	グラインダーの台の上に手をつこうとしたところ、よそ見をしていたのでグラインダーの回転部分に直接手を触れた。	59	8	153	10～ 29人
12	2018	3	14 ～ 15	工場内にて、モーター部品の鋳物加工中、両手でひしゃくに入れた湯（約1200℃で溶解した銑鉄）を型枠にそそごうとした際、ひしゃく内の湯が波立ち、ひしゃくからこぼれ右足くつの中に入り、右足小指及び右足の裏側を火傷した。	44	11	521	1～9 人
13	2018	3	7 ～ 8	鋳物の型から鋳物を取り出す作業を行う解枠場にて、500kg程度の鋳物が入った金枠にフック付きチェーンを掛け抜き取ろうとしたときに、そのチェーンが外れ後頭部に直撃し、その衝撃で倒れた際に肩を地面に強打したと思われる。	31	6	211	30～ 49人
14	2018	3	11 ～	工場内で製品の切断作業中、手元の切断箇所を注視し作業を行っていたところ手元以外の製品部分に鋸刃が当たり切り込みをつけ	53	8	131	100 ～

			12	てしまった。そのことで気が動転し無意識に左手を鋸刃付近に動かしてしまい、鋸刃に接触し左手人差し指に受傷した。				299人
15	2018	3	10 ～ 11	検査作業場にて自分の作業台より隣の作業台にある未検査品を取りに行く際、床に這わせてあった電気ストーブのコードに足が引っかかり転倒し、右手を床に強打した。	55	2	419	30～ 49人
16	2018	3	0 ～ 1	造形場ミキサー前にて、三角地板の荷役作業を行っていた。三角地板のフックへチェーンを掛けてテンションを掛けたときに、フック下にあったU溝にチェーンが引っかかってしまった。外そうとしたがチェーンが挟まっていて抜けなかったため、一瞬目線を離れたときに、急にチェーンが外れて三角地板が落下し右腕が挟まれてしまった。	32	7	521	—
17	2018	3	15 ～ 16	工場内で、製品にチェーンを巻いて吊り上げようとしたときに、製品とチェーンの間に右手小指を挟み負傷した。	63	7	372	1～9人
18	2018	3	12 ～ 13	工場内で業務中に発生した。被災者に作業上のミスがあり、その後の対応について加害者の班長が指示（1件の作業指示に対し、3度指示）したが、行動に移らず、従わなかったため被災者に近寄り叱責中、感情が高ぶり近くにあった木材で叩いてしまった。	23	90	921	50～ 99人
19	2018	3	10 ～ 11	電気炉のプラットホームの階段（3段）を飛び降りて、右膝の筋を痛める。	21	3	413	10～ 29人
20	2018	4	9 ～ 10	会社の事務所前で、荷積みを終えたので、その上にシートをかぶせた。そのシートが風であおられないように、ゴム紐で押さえようとしていたらそのゴム紐が切れてしまい、結果バランスを崩して、トラックの荷台から落下してしまった。	51	1	221	10～ 29人
21	2018	4	11 ～	受傷者は鑄込要請を受け補助員として準備を始めた。鑄込作業が始まり、受傷者と作業者が左右の鑄型の覗き窓から溶湯がせり上がってくるのを確認していた。そのとき、溶湯が覗き窓から溢れ	66	11	341	100～

			12	出し、作業床に落ち跳ね上がった溶湯の一部がズボンに当たり引火し受傷した。				299人
22	2018	4	8 ～ 9	工場、造型職場のFRM造型機上部で、生砂を受けるホッパーとシャッター板の間のシールを調整するため、左手でボトルを増し締め中に誤ってシャッター板が通過する位置にある近接ドッグに右手を置いたところ、シャッター板が動き、挟まれ受傷した。	53	7	169	100～ 299人
23	2018	4	11 ～ 12	事業場の仕上げ工場で鋳物製品の仕上げ（バリ取り）作業中、200kgの鋳物をクレーンで吊り上げ方向転換していた際、鋳物が傾き転倒、右足の上へ転倒した。	24	4	372	10～ 29人
24	2018	4	14 ～ 15	当工場内で鋳鉄溶解湯をルツボより柄杓に取り、鋳型に注湯する作業中、足のバランスを崩したために柄杓より溶解湯がこぼれ安全靴をはいていた右足にかかり火傷を負った。	63	11	519	10～ 29人
25	2018	4	16 ～ 17	当社工場内で製品を加工作業中、製品を手でひっくり返したとき、誤って右手親指の関節を製品と地面との間に挟み負傷をした。	64	7	521	30～ 49人
26	2018	5	11 ～ 12	自社トラックの荷台でレバーブロックを使用して積み荷の固縛を行っていた。ワイヤー片側のフックを荷台の埋め込みフックに掛け、荷の反対側から仮締めのためレバーブロックのチェーンを両手で引いたところフックが外れており、そのまま1m下の床面に臀部から転落した。	46	1	221	50～ 99人
27	2018	5	13 ～ 14	旋盤で製品を仮止めした状態で脱落防止用の針棒を通して止めるときに、仮止めの製品が外れて落ちて、旋盤の摺動面を落ちてきた製品との間に右手中指を挟んだ。	59	4	151	10～ 29人
28	2018	5	15 ～ 16	工場内で約20kgの鋳物を移動させていたところ、手が滑り、左足甲に落としてしまい負傷した。	61	4	521	10～ 29人
			19					

29	2018	5	～ 20	コンベアの終点のショートから、下のターンテーブルに鋳物が落下しているところへ、手を入れたため、鋳物に当たり受傷した。	59	4	521	—
30	2018	5	8 ～ 9	工場敷地外周の雑木を切るため、高低差が約2.5mあり安全帯を付けず、雑木にナイロンスリングを結び付け片方をブロック塀穴に結び、木に掴まりながらのこぎりで切っていたが、作業中に気分が悪くなり失神し気が付いたら転落していた。	34	1	712	1～9 人
31	2018	5	12 ～ 13	当日出荷分の約300kgの鋳物をクレーンで移動していたところ、横に置いてあった別の鋳物に接触し、クレーンで移動していた鋳物が揺れ、その揺れでクレーンのフックが鋳物から外れ、外れた勢いで鋳物と鋳物の間に右手を挟み負傷した。	35	4	211	30～ 49人
32	2018	5	21 ～ 22	造型工程解砕作業場で、予備マニピュレーターのアタッチメントのオーバーホールを行うために安全柵を取り外そうと持ち上げた際、バランスを崩し柵とともに高さ約2mのデッキから落下し、左足踵を骨折した。	45	1	419	100 ～ 299 人
33	2018	5	16 ～ 17	台座に座って製品の研磨作業をしていて、仕上げ品を収納するためのプラスチックケースを中腰になって持ち上げて右方向に寄せようとしたとき、腰に激痛が走った。	54	19	611	—
34	2018	6	5 ～ 6	溶解炉前で作業中、頭がくらくらしたがそのまま作業を続け、作業終了後に意識が朦朧とした。	41	11	715	100 ～ 299 人
35	2018	6	14 ～ 15	工場中、塗型剤を塗りライターで火を点け、塗型剤を乾かす作業をしているとき、塗型剤がズボンにこぼれて着火し、左膝下から足首に火傷を負った。	73	12	519	1～9 人
36	2018	6	10 ～	作業場内、電気炉とベルトコンベアの間で型ばらし作業中、電気炉から取り鍋へ溶けた鉄（約1400℃）を移し替える際、被災者は安全確保のため4kmほど離れたところで待避していた。その際、	41	11	341	10～

			11	発生した火花状の飛沫（溶けた鉄が飛び散ったもの）が通常より遠くまで弾け飛び、飛沫が安全靴と作業ズボンの隙間から中に入り負傷した。				29人
37	2018	6	13 ～ 14	仕上げ工場の作業場で、サンダーを使って鋳物製品の仕上げ作業中に、製品を両手で動かそうとしたときに左手が滑り、製品と床面の隙間に左手示指が挟まれた。	42	7	521	10～ 29人
38	2018	6	9 ～ 10	製品加工ラインで外段取り作業中、トイレに行くためラインを離れて歩いているとき、意識を失った。	37	90	921	1000 人以上
39	2018	6	10 ～ 11	工場で解体した鋳物を、リフトを使って置き場に下ろす際、地面で跳ね返った鋳物（10cm位）が左膝に当たった。	59	4	222	10～ 29人
40	2018	6	13 ～ 14	工場では、鋳型をワイヤーロープで吊り上げて移動する際、鋳型のバランスをとるため鋳型に足を掛けたとき、鋳型が反転し、吊っていたワイヤーロープと鋳型の間に左足踵を挟まれた。	42	7	211	10～ 29人
41	2018	6	9 ～ 10	鋳物工場の造型機で、約20kgの型を造型機から外す際に手が滑り、型が左手小指に落ちた。	48	4	379	30～ 49人
42	2018	7	8 ～ 9	電気炉で地下にある水のバルブの破損の確認のため、通電しているバーを潜ろうとしたところ、左肩か左腕がバーに接触し感電した。	54	13	359	50～ 99人
43	2018	7	15 ～ 16	溶解炉にて、アルミインゴットの投入を行っている最中に、5号炉と6号炉の間に置いてあった取鍋を跨ぐ際、取鍋の柄の部分に左足に引っ掛けてしまい、バランスを崩して5号炉に左胸をぶつけてしまった。	30	2	416	100 ～ 299 人
44	2018	7	19 ～	工場内において鋳物製品加工作業中、マシニングセンターから加工された製品に錆が付いていたため、電動ワイヤーブラシで錆と	24	4	153	50～

			20	りをしていたところ、ワイヤーブラシの針金が折れてしまい、その破片が左目に刺さり負傷した。				99人
45	2018	7	18 ～ 19	工場内でトリベからノロを取り除く作業中、地面に落ちた湯玉がズボンに跳ね返り燃え広がり、左足踵から膝にかけて火傷を負った。	40	11	341	10～ 29人
46	2018	7	7 ～ 8	処理工場切断場にて、製品をクレーンホイストで積み込み中、製品がハサミから外れ、パレットの上でバウンドし右足の親指に落下した。	47	4	211	10～ 29人
47	2018	8	18 ～ 19	作業場内でバリ取り作業中、隣のテーブルショットで別の作業者がショット掛作業中に、鋳物がテーブルから落ちて、左足甲に当たり負傷した。	41	4	521	10～ 29人
48	2018	8	10 ～ 11	製品を水没検査機にて検査するため左手で持ち、右手でハンドルを下げたとき、製品を持っている左親指とヤトイとの間に挟み受傷した。	61	7	169	100 ～ 299 人
49	2018	8	11 ～ 12	製品納入時、客先の指示により、すぐ横にあるパレットに降ろしておくように言われたが、リフトがなく、しかたなく軽トラック荷台より手降ろしをした際に、腰を痛めた。	30	19	611	10～ 29人
50	2018	8	9 ～ 10	休日出勤にて棚卸作業で、手前に置いてある製品の上にあがり確認後、製品の上から降りた際に、地面の凸部で左足をひねり打撲した。	43	19	416	50～ 99人
51	2018	9	20 ～ 21	残業時間中に自販機で飲み物を買ひ、通路側ではなく設備間を通り抜けようとした際、中子穴開け機の凸部分に右足太腿上が接触し負傷した。	45	3	169	100 ～ 299 人
52	2018	9	8 ～	熱処理前の品物が入ったバッカンをクレーンで上げようとしたところ、バッカンにもたれかかっていたバルブが足に倒れてきて負	40	5	211	50～ 99人

			9	傷した。				
53	2018	9	23 ～ 24	工場ベッカー作業場のエプロンコンベア上で、作業がしやすいように製品（約50kg）の裏返し作業を行っていた際、製品とコンベアの間指を挟んで負傷した。	54	7	521	300 ～ 499 人
54	2018	9	10 ～ 11	電磁クレーンにより電気炉に材料を投入する作業中、電磁クレーンから材料が落ちたため拾い上げたとき、電磁クレーンを作動停止にしていなかったため、クレーンと材料の間で指を挟んで負傷した。	43	7	211	50～ 99人
55	2018	9	13 ～ 14	工場にて造型後の砂型（70cm四方、約60kg）をクレーンで吊り上げ、抜型作業をする際、対角線2点で持ち上げた砂型がバランスを崩し、回転しそうになったので止めようとしてはじかれ、頭部と左眉辺りを負傷した。	56	6	211	30～ 49人
56	2018	9	16 ～ 17	工場内で手込めミキサー清掃作業中、ミキサーの出口の砂を落とす際、通常はメインスイッチを切って作業するが、切らずに出口に左手を入れたため、回転するミキサーの刃で左手中指及び薬指に切創を負った。	26	8	162	30～ 49人
57	2018	9	20 ～ 21	残業時間中に自販機で飲み物を買ひ、通路側ではなく設備間を通り抜けようとした際、中子穴開け機の凸部分に右足太腿上が接触し負傷した。	45	3	169	100 ～ 299 人
58	2018	9	8 ～ 9	熱処理前の品物が入ったバケツをクレーンで上げようとしたところ、バケツにもたれかかっていたバルブが足に倒れてきて負傷した。	40	5	211	50～ 99人
59	2018	9	23 ～ 24	工場ベッカー作業場のエプロンコンベア上で、作業がしやすいように製品（約50kg）の裏返し作業を行っていた際、製品とコンベアの間指を挟んで負傷した。	54	7	521	300 ～ 499 人

60	2018	9	10 ～ 11	電磁クレーンにより電気炉に材料を投入する作業中、電磁クレーンから材料が落ちたため拾い上げたとき、電磁クレーンを作動停止にしていなかったため、クレーンと材料の間で指を挟んで負傷した。	43	7	211	50～ 99人
61	2018	9	13 ～ 14	工場にて造型後の砂型（70cm四方、約60kg）をクレーンで吊り上げ、抜型作業をする際、対角線2点で持ち上げた砂型がバランスを崩し、回転しそうになったので止めようとしてはじかれ、頭部と左眉辺りを負傷した。	56	6	211	30～ 49人
62	2018	9	16 ～ 17	工場内で手込めミキサー清掃作業中、ミキサーの出口の砂を落とす際、通常はメインスイッチを切って作業するが、切らずに出口に左手を入れたため、回転するミキサーの刃で左手中指及び薬指に切創を負った。	26	8	162	30～ 49人
63	2018	9	20 ～ 21	残業時間中に自販機で飲み物を買ひ、通路側ではなく設備間を通り抜けようとした際、中子穴開け機の凸部分に右足太腿上が接触し負傷した。	45	3	169	100 ～ 299 人
64	2018	9	8 ～ 9	熱処理前の品物が入ったバツカンでクレーンで上げようとしたところ、バツカンにもたれかかっていたバルブが足に倒れてきて負傷した。	40	5	211	50～ 99人
65	2018	9	23 ～ 24	工場ベッカー作業場のエプロンコンベア上で、作業がしやすいように製品（約50kg）の裏返し作業を行っていた際、製品とコンベアの間で指を挟んで負傷した。	54	7	521	300 ～ 499 人
66	2018	9	10 ～ 11	電磁クレーンにより電気炉に材料を投入する作業中、電磁クレーンから材料が落ちたため拾い上げたとき、電磁クレーンを作動停止にしていなかったため、クレーンと材料の間で指を挟んで負傷した。	43	7	211	50～ 99人

67	2018	9	13 ～ 14	工場にて造型後の砂型（70cm四方、約60kg）をクレーンで吊り上げ、抜型作業をする際、対角線2点で持ち上げた砂型がバランスを崩し、回転しそうになったので止めようとしてはじかれ、頭部と左眉辺りを負傷した。	56	6	211	30～ 49人
68	2018	9	16 ～ 17	工場内で手込めミキサー清掃作業中、ミキサーの出口の砂を落とす際、通常はメインスイッチを切って作業するが、切らずに出口に左手を入れたため、回転するミキサーの刃で左手中指及び薬指に切創を負った。	26	8	162	30～ 49人
69	2018	9	20 ～ 21	残業時間中に自販機で飲み物を買ひ、通路側ではなく設備間を通り抜けようとした際、中子穴開け機の凸部分に右足太腿上が接触し負傷した。	45	3	169	100 ～ 299 人
70	2018	9	8 ～ 9	熱処理前の品物が入ったバツカンをクレーンで上げようとしたところ、バツカンにもたれかかっていたバルブが足に倒れてきて負傷した。	40	5	211	50～ 99人
71	2018	9	23 ～ 24	工場ベツカー作業場のエプロンコンベア上で、作業がしやすいように製品（約50kg）の裏返し作業を行っていた際、製品とコンベアの間指を挟んで負傷した。	54	7	521	300 ～ 499 人
72	2018	9	10 ～ 11	電磁クレーンにより電気炉に材料を投入する作業中、電磁クレーンから材料が落ちたため拾い上げたとき、電磁クレーンを作動停止にしていなかったため、クレーンと材料の間で指を挟んで負傷した。	43	7	211	50～ 99人
73	2018	9	13 ～ 14	工場にて造型後の砂型（70cm四方、約60kg）をクレーンで吊り上げ、抜型作業をする際、対角線2点で持ち上げた砂型がバランスを崩し、回転しそうになったので止めようとしてはじかれ、頭部と左眉辺りを負傷した。	56	6	211	30～ 49人
				工場内で手込めミキサー清掃作業中、ミキサーの出口の砂を落と				

74	2018	9	16 ～ 17	す際、通常はメインスイッチを切って作業するが、切らずに出口に左手を入れたため、回転するミキサーの刃で左手中指及び薬指に切創を負った。	26	8	162	30～ 49人
75	2018	10	13 ～ 14	工場内の切断場で製品（トレーリングアーム）の切断作業を終え、製品内部に入った切断ノロを取り除こうとした。その際、製品がバランスを崩して倒れ、製品と床に体が挟まれた。	62	5	521	10～ 29人
76	2018	10	12 ～ 13	仕上げ場で製品をクレーンでカゴ台車に入れる際、玉掛けしやすいよう製品を前に移動させようとしたとき、製品が倒れて右手中指を挟んだ。	54	7	521	10～ 29人
77	2018	10	8 ～ 9	鑄造製品（内径920×外径1070×幅140mm、約290kg）を転がして移動していたとき、製品が倒れて右足を負傷した。	25	6	529	1～9 人
78	2018	10	9 ～ 10	資材置き場としている階段の踊り場で、高所から資材を下ろす際に後方へ転倒し、左肩を強打した。	69	2	413	10～ 29人
79	2018	10	14 ～ 15	鑄物工場で中子の造型作業中、芯金をロープに掛けて吊り上げて移動する際、ロープが外れて芯金が左足の上に落下した。その際、安全靴を履いていたが保護のない部分に当たり、右足親指を骨折した。	49	4	211	30～ 49人
80	2018	10	18 ～ 19	鑄物工程で溶湯後の型ばらし作業中、鑄物素材を吊った金具を冷却ラインのフックに掛ける際、鑄物素材が左足に落下した。	22	4	379	50～ 99人
81	2018	10	9 ～ 10	ガウジング成形加工場で、約460kgの製品を作業用回転テーブルに載せたとき、製品が転倒しそうになったため、転倒防止ライナーとストッパーを設置した。その際、転倒防止対策が不十分であったため、製品が被災者側に倒れた。被災者が押さえようとしたが、転倒して左肘を圧迫し、右手に持っていたガウジング棒に接	49	5	612	1～9 人

				触して左腕に熱傷を負った。				
82	2018	10	13 ～ 14	鑄造工場の後処理場でバリ取り作業をしていた。約300kgの円盤型の鑄物をクレーンで吊って作業台に載せ、裏返えす際に作業台から落下して右足甲に当たった。	56	4	521	50～ 99人
83	2018	11	14 ～ 15	アルミ鑄造作業場で、鑄物鑄造用の砂型にアルミ溶湯を注湯していた。砂型上部の溶湯受けに溶湯を溜めて、ストッパー（栓）を抜き一気に流し込んだところ、砂型内の空気が排気口から抜けきれず、砂型内の圧縮された空気により溶湯受けが破損し、アルミ溶湯が飛散して負傷した。	32	11	521	50～ 99人
84	2018	11	14 ～ 15	アルミ鑄造作業場で、鑄物鑄造用の砂型にアルミ溶湯を注湯していた。砂型上部の溶湯受けに溶湯を溜めて、ストッパー（栓）を抜き一気に流し込んだところ、砂型内の空気が排気口から抜けきれず、砂型内の圧縮された空気により溶湯受けが破損し、アルミ溶湯が飛散して負傷した。	37	11	521	50～ 99人
85	2018	11	14 ～ 15	砂落とし場所で後ろ向きで作業していたところ、フォークリフトがバックしてきてタイヤに左足を踏まれた。	57	7	222	10～ 29人
86	2018	11	11 ～ 12	工場内注湯作業場で、鑄型に湯（溶けた鉄）を柄杓で流し込む際、湯が作業服のズボンを伝ってブーツ型安全靴の中に入り、左足に火傷を負った。	20	11	521	10～ 29人
87	2018	11	14 ～ 15	出荷検査中、立ち位置を変えよとしたところ転倒しそうになり、板パレットの隙間に右足を挟んで骨折した。	56	19	921	50～ 99人
88	2018	12	18 ～ 19	当社工場内で作業を終了し、砂を砂置き場に運んだ。戻ろうとしたところ、砂を保護するために下に敷いていた発泡スチロールにつまずき転倒し、その際、左手を床に打ち、骨折した。	64	2	417	10～ 29人
			11	当社仕上げ場にてサンダー等を使用して、鑄物の仕上げを行って				

89	2018	12	～	いた。作業台の上で鋳物の位置を変えようとしたところ、鋳物と作業台との間に両手の小指を挟み、骨折や挫創を負った。	64	1	521	—
90	2018	12	～	10 11 造型ラインの、台車のライナー取り替え後の試運転中に、作業前ミーティングで不調を聞いていたPS（プッシャー装置）の様子を見ようとレールを跨いだときにバランスを崩し、ウェアプレート上に足が落下したためセンサーが反応し、動き出したPS台車とレールに足を挟まれ被災した。	64	7	229	50～ 99人

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各小業種における死傷災害100事例まで（2018年）](#)に戻る。